



発行：豊町東町会 編集：事務局広報部
お問合せ 豊町ふるさと会館 Tel & Fax 04-7169-1101

今号のご案内

- 令和元年が始動
- 新しい“顔”を紹介
- 町会行事のお知らせ
- 水戸街道物語 第8回

令和元年度 スタート

豊町東町会 第22期定期総会



令和元年度となる第22期定期総会が、4月13日、豊小学校体育館で開かれまし。各区の新旧班長さんら委任状を合わせて約200人が出席。第1部は3区区長の三井祥正さんを議長に選出し、平成30年度の事業報告、収支報告、新年度の事業計画案、予算案などを審議し、すべての議案が了承されました。

●各區、団体が活動報告

第2部では民生委員など来賓が紹介されたあと1～4区の区長さんから1年間の活動を報告。夏祭りでの担当模擬店の苦労話や、防災研修などイベントの様子が紹介されました。また成年部、明寿会、子供会、消防分団、事務局広報部、婦人部の活動報告もあり、町会の地域活動のあらましがわかるという第2部でした。

●見守り活動の今井さんに感謝状



第2部の冒頭、学童の見守り活動を続けている今井都夫さんに町会から感謝状と記念品が贈られました。今井さんは6年ほど前から毎週月・水・金曜日の下校時に、高橋酒店前の交差点で、学童の見守りを続けています。

平成30年度 町会収支報告 (単位：千円)	
収入	支出
前期繰越	2,360
町会費	5,588
柏市助成金	2,874
雑収入等	415
合計	11,237
一般支出	2,532
助成金等	2,854
イベント等	3,941
特別支出	1,070
次期繰越	840
合計	11,237

豊町東町会自主防災組織 (単位：千円)	
収入	支出
前期繰越	688
防災費	1,023
合計	1,711
災害用備品等	68
防災訓練費	123
消防団助成金	680
防犯パトロール	15
次期繰越	825
合計	1,711

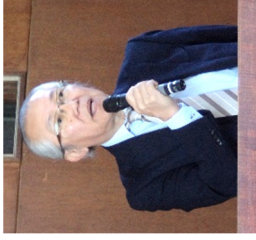
令和元年度 町会役員 (敬称略)

会長 (総務)	佐野治人
副会長 (会計)	遠山幹夫
副会長 (防犯交通)	磯部俊四郎
副会長 (環境整備)	三井祥正
会計監査	松崎力 新任
会計監査	岩原広也
1 区 区長	鈴木英男
2 区 区長	高橋正栄
3 区 区長	黒澤聡明
4 区 区長	三井祥正 副会長兼務
	磯部俊四郎 副会長兼務

※役員改選期ではありませんが、副会長に松崎力さんが選任されました。

●新たな時代に第一歩を！

会長 佐野治人



時代は平成から令和へ。町会ではこれまでの活動で学んだことを軸に、新しい時代にふさわしい地縁活動へ歩を進めます。余生の長くなりたいま、リタイア後の居場所がみつけないという話を聞きます。人それぞれの人生ですが、その居場所の一つに自分の暮らす地域を加えてみてはいかがですか。時代の変わり目を迎える今だからこそ、「地域で育てられて巣立ち」、「社会人として活躍した後は」、「地域に戻って後進をサポートしながら余生を楽しむ」という輝きのある人生を享受するために、第一歩を踏み出し、てみようではありませんか。(挨拶要旨)



新しい顔 紹介します



令和元年のスタートに際し、町会の新しい顔を紹介します。50代前半の副会長、41歳の成年部長と若い力が登場し、児童の保護者ではない子供会会長も誕生。また4月の人事異動で豊小学校教育頭に土田先生が着任されましたので、あわせて紹介します。

● 地域活動は28年にも

副会長 松崎力さん



地域活動とのかかわりは、26歳で消防団分団に入ってから。「スポーツ少年団で野球をやっていた時の先輩に誘われて」の入団でした。地域の防災に取り組むことと実に16年。40歳を過ぎて若い人を入れるために退団しましたが、こんどは町会の成年部に入って、部長をつとめるなど、合わせて28年間も地域活動を続けています。成年部は夏祭りの準備などいくつもあある町会イベントの実働部隊。部員は青壮年が多く、松崎さんをはじめ、みんな仕事を持っていきますが「若手が気持ちよく協力してくれ、楽しくできた」と振り返ります。4人いる副会長の中では最も若い。「抱負なんて言える柄ではない。これまでの延長として地域のために、人のために何かできればいいと思っています」。

● 保護者ではない会長が誕生

子供会会長 本部洋子さん

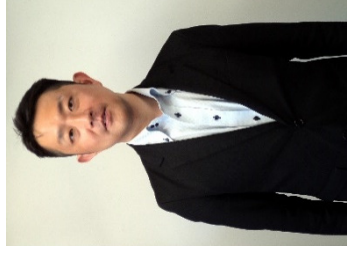


「豊小に通う子供がいるわけでもない私に子供会のことができるかしら」と思ったそうですが、何も知らない、怖いもの知らずで引き受けたといます。「みなさんの力を借りなければ、なにもできません。まずは、元気太鼓などいまままで子供会が育ててきたものをしっかりと受け継いでいくことから始めたい」と。前会長の福島優子さんら町会の青少年対策室が全面的にバックアップしていきま

す。町会の仕事は成年部で1年弱の経験のみ。でも、勤め先と家を往復するだけだった生活が一変したといいます。夏祭りや炊き出し訓練などの地域の人たちとの交流がとてもしも新鮮で、楽しいと感じたとか。新鮮なリーダーによる会の発展が楽しみです。

● 実働部隊の若きリーダー

成年部長 二宮弘樹さん



41歳という若い部長の誕生です。副会長となった松崎力さんの後任。34歳で成年部入り。サラリーマンで若い家庭があつて、ためらいはなかったかと聞くと「町会で班長の経験があつたし、仕事、家庭に加えて地域のことを生活の一部に組み入れてしまったので苦にはならない」とのこと。成年部は町会の実働部隊という大切なポジション。現在、総勢21人（うち女性5人）で、みなさん仕事を持つためのボランティアです。「町会の活動を支えるために、もつと部員を増やしたい」といいます。「今までやってきたことをしっかりと踏襲し、その上で、令和の時代に何ができてくるかを考えたい」というのが就任の弁。“飲みニケーション”で部員の交流も活発なようです。若きリーダーへの期待は大。

● 「地域とのつながりを大切に」

豊小学校教育頭 土田真治さん



4月の異動で市教委指導課から着任。「赴任してまだわずかですが、学校と地域をつなぐのが深いなと感じました」というのが第一印象とか。5月18日には運動会があり、保護者の方がたくさん見えるので、交流を楽しみたいといいます。

豊四季という町については「まだわかりません。これからできるだけ町に出て、みなさんの学校に対する思いなどを知るようにしたい」と、地域を知り、人を知ることには意欲を見せています。

趣味をたずねると「自分で楽しむのはとくはない。子供や家族との時間を大切にしたいというのが趣味かなあ」。小学1年、2年の2児を持つという、お父さんの顔がありました。

● 「Skip れんたルーム」特別会員に



町会の新しい特別会員です。時間貸しのレンタルルームで、展示会、会議などさまざまな場合に利用できます。場所はふるさと会館前の旧水戸街道を越える細い道路を100メートルほど入った左側。

☎ 04-7174-5878



町会イベントのお知らせ

ゴミゼロ運動に参加しよう!

5月26日(日) 8:00~10:00

- ・自宅~ふるさと会館(1・3・4区)
- ・自宅~低見台公園(2区)



今年も市内全域で実施されます。当町会のゴミ集積場所は、ふるさと会館(1・3・4区)、低見台公園(2区)の2か所です。自宅を出て道路のゴミを拾い、お近くの集積所まで届けてください。

● 昼からバーベキュー大会



ゴミゼロ運動の慰労と町内の親睦を目的としたバーベキュー大会を、屋ごろから低見台公園で実施します。成年部が中心になって準備や運営に当たり、肉、ソーセージ、野菜、トウモロコシなどをたっぷり用意し、炭火で香ばしく焼き上げます。

参加は自由。親子で、ご近所誘い合わせて、お友だち同士でお出かけください。未婚の男女のためのテーブルも用意します。出会のきかけになります。

● 防犯パトロールに参加を!

6月1日(土) 午後6時から

町内全域の防犯パトロールを実施します。1~4区ごとにグループとなり、自分の住む町を回ります。消防団員が協力し、拍子木をたたき、ハンドマイクで防犯や火の用心を呼び掛けてのパトロール。集積場所は1区、3区、4区は豊町ふるさと会館、2区は低見台公園。参加した人にはゴミ袋、ドリンク(子供)のおみやげがあります。

みんなで応援しよう

消防操法大会



恒例の消防操法大会が、6月2日(日)、大堀川防災レクリエーション公園で開催されます。第2方面第8分団

(豊町)は小型ポンプの部に出場します。それぞれに仕事を持つ団員たちは、大会に備えて、夜間豊小学校校庭で特訓に励んできました。身近な防災の担い手の皆さんの健闘の様子を、みんなで応援しましょう。

「災害図上訓練」に参加しよう!

日程は班長さんにお問い合わせを



自分たちが住む町を知って災害に備える「災害図上訓練」を豊町ふるさと会館で実施します。図上訓練とは聞きなれない言葉ですが、自分たちで地域のハザードマップを作り、それをもとに避難、救助などの対応を探ろうという訓練です。

数人ずつのグループに分かれ、机上に地図を広げます。町内全域の危険な場所や建物、細い道路、避難可能な場所、医療機関や薬局、薬局、医師・看護師の自宅、災害時に協力してもらえそうな企業や商店などをチェックして色の印をつけていきます。この作業だけでも長年住んでいるのに気づかなかつたという発見がけっこうあります。

地図ができあがると次に「想定課題」が出されます。例えば「地震で高齢男性が家具の下敷きとなって、奥



さんが助けを求めている」など。自分たちが作った地図をもとに、救助の方法などを話し合い、グループごとに発表する一という訓練。机上の訓練ですが、みんなが想像力を働かせ、グループごとにちがった意見や発想が出るなど、“ゲーム感覚”もあるので、けっこう盛り上がりがあります。

訓練は各区ごとに実施します。日程は班長さんにお問い合わせください。



●「コ」の字形の宿



亀有駅前から旧水戸街道に出て北へ進めばまもなく中川。かつてここに渡す場があった、向う岸の新宿（に

いじゅく）へは船で渡っていました。千住に次ぐ2番目の宿ですが、大名などが泊まる本陣はななく、一般旅人用の旅籠のみ。宿に入ってすぐ直角に右に曲がり、突き当たって左へ、さらに少し先を左に曲がる「コ」の字形の道が特徴です。真ん中に大きな生簀があったからだと言われますが、江戸の防衛上、直線の道にしなかつたという説も。

●「池須守」の墓

規模が小さく、そう広くない宿場の割りに寺社があります。宿に入ってすぐ日蓮宗の立増寺、真言宗の宝蓮寺が。芝増上寺系の西念寺には「池須守」（いけすのかみ）の墓があります。宿場があったころの生簀の番人の墓と伝えられます。また浄心寺には、二・二六事件の犠牲になった清水巡査の墓も。

「コ」の字の2辺目を突き当たると国道6号と合流しますが、ここが水戸街道と佐倉街道の分岐点。ここを左折して旧道を進みます。静かな住宅街となっている道を歩き続け、常磐線金町駅の近くを通り、同線のガードをくぐると、旧道は右手の江戸川と並ぶような形に。

●葛西噺子発祥の神社



道路右手にある葛西神社と、少し先の左手にある光蔵寺へ。葛西神社は元暦2年（1185）創建といわれる古い神社。葛西噺子（かさいばやし）発祥の地とされ、境内に「葛西ばやし」の石碑があります。光蔵寺も貞応元年（1222）僧法海が草庵を結んだのが始まりといわれる古い

寺で、手入れの行き届いた美しい日本庭園が印象的でした。

車の往来が激しい旧道を避けて、江戸川の堤防上を歩き、右前方に松戸市街のビルが見える葛飾橋。でも本来の旧道はもう少し先まであって、金町松戸関所を経て、渡し船で対岸の松戸宿へ渡りました。関所の役割りは重く、とくに江戸への鉄砲の持ち込みと、江戸からの大名家の子女の脱出を厳しく取り締まりました。関所の遺構はなにもなく、関所跡の表示板があるのみ。



●将軍は“船の橋”で渡河



一般の旅人は渡し船を利用しましたが、小金原の狩に向かう将軍は、急遽作られる船の橋「船橋」で渡りました。当時の川幅は70間（約127m）といわれますが、川幅の分だけ船を並べ、流されないよう岸の木と綱で結んで固定。船上に板を渡し、土を盛って“橋”にしました。将軍は馬に乗ったまま船橋を渡ります。その様子を伝える錦絵には、なんと橋のわきに松の木が植えられています。

関所跡から少し戻り、葛飾橋を渡って松戸市へ。江戸川沿いにある河岸により水運も盛んだった松戸宿。金町からの船が発着したとされる下横町の渡船場が宿の玄関口でした。

堤を下りて少し歩けば旧道の宿場通り。通りを左折し、左側の松戸郵便局のあたりに、本陣がありました。



（つづく）

※街道探検の詳細は、町会ホームページをご覧ください